

# 物理学系セミナーのお知らせ

題目： 生物のナノマシン「蛋白質」

講師： 吉村英恭先生（理工学部物理学科教授）

日時：2008年10月31日（金）16時20分～17時50分

場所：理工学部 A 棟 206 教室

**講演要旨：**生命とはなんだろうか。太陽光からエネルギーを得て化学エネルギーに変換し、化学エネルギーを使いやすい分子に変換し、それを使って運動し、もちろん思考するのもにも化学エネルギーを使い、子孫を残す。これらの機能をはたしているのは炭素を含む高分子である蛋白質である。どのような過程を経て地球に生物が誕生したかは判然としないが、30億年以上かけて進化してきたことは事実である。自然が改良してきたさまざまな機能を持つ蛋白質は、現在人間が使っているあらゆる装置より優れていると言わざるを得ない。このような優れた装置である蛋白質とはどんなものか、人間が生命の外で利用することができないか、などに触れてみたい。

吉村先生は皆様ご存知の生物物理の先生です。今年9月まで物理学科長として学科の世話もしていただきました。また明大ハイテクリサーチセンタープロジェクト「生体分子を利用した新機能性ナノ素材の創成」を主宰してこられ、この11月28日（金）13:30からのその終了シンポジウムでもナノ粒子創生プロジェクトの総括と未来という題で講演されます（A棟401教室）。

今回は学部生にもわかるようなお話をお願いしました。学部生、院生、教員の皆様のご参加をお願いします。

（連絡先：稲垣睿 内線 7432、[inagaki@isc.meiji.ac.jp](mailto:inagaki@isc.meiji.ac.jp)）